

INTERVIEW ABOUT SANOMARU

市内外で活躍を続け、多くの人に笑顔をお届けする「さのまる」。
そこには、その人気を支え、さまざまな場面でさのまるの活動をサポートしている
職員の存在があります。今回はゆるキャラグランプリ優勝時のエピソードやさのま
るの活躍の広がり、愛されるその魅力について話を聞きました。



市民生活課

大澤 美希さん

観光推進課
(佐野市観光協会派遣)

橋本 和友さん

財産マネジメント課

武島 昭衣さん

行政経営課

尾花 恵太さん

さのまるの好きなところは？

武島さん 丸く愛らしいフォルムが魅力的ですね。心理学的にも根拠があるみたいで、丸い形は安全だと感じ、好意を示してもらいやすいみたいです。

尾花さん 丸いフォルムだけど意外に素早く動けるといふギャップがさらに魅力を引き立てますよね。また、市外にPRするさのまるも良いですが、市内でも積極的に活動していて、市民の方に笑顔届けているところが素晴らしいと思います。

グランプリ優勝時のエピソード

大澤さん 2011年のゆるキャラグランプリの時には20位、2012年には4位に浮上し、2013年でグランプリを目指すぞと、職員一同熱量を持って応援しました。その頃のライバルには「ぐんまちゃん」や「ふっかちゃん」、「出世大名家康くん」などがいて中間発表では2位でした。職員はもちろん市民の方や企業の方も巻き込んで勝ち取った優勝だったと思います。

尾花さん 家康さんと相当な差がありましたよね。1位に輝いたときは嬉しさよりも驚きが強かったです。翌日のニュースにも数多く取り上げられていました。

武島さん グランプリを目指し、頻繁に職場の掲示板で「一日一票投票しましょう」と促していました。職員一丸となって応援していましたね。

当時、公用車にさのまるのステッカーが貼られていて、ガソリン給油時にスタンドの方から「今日もさのまるに一票投票したよ!」という声もあり、職員はもちろん地域の方も一緒になって応援いただいたおかげだと思います。

さのまるを精力的に応援

大澤さん 職員の中から有志でファンクラブを作ったり、埼玉県羽生市や滋賀県彦根市、関東地区のイベントにファンクラブのみんなで行ってさのまると一緒に佐野市をPRしてしました。私はグランプリを取った後の静岡県浜松市や愛媛県松山市で開催されたゆるキャラグランプリに参加しました。さのまるのPRタイムがあったのですが、そこには多くのファンの方が訪れ、その数が年々増えていったことを覚えています。

さのまるの活躍の広がりについて

大澤さん 最初の頃は佐野らーめんが先行していて、その後さのまるや佐野市が認知されるようになりましたね。

橋本さん 佐野市の観光PRを東京な

Costume Collection

これまで、さまざまなイベントで衣装をお披露目してきたさのまる。数多くあるコレクションの中から一部をご紹介します。



おさんぽ衣装



えんぴ 燕尾服



ハロウィン かぼちゃ衣装



サンタ衣装



あなたが着せたい
さのまる衣装を
投票で決めよう！



「さのまる衣装デザインコンテスト 2026」で皆さんが応募した作品の中から、実際にさのまるに着てほしい衣装に投票しましょう！

▶投票期間（予定）

8月20日（木）～9月3日（木）



どで行っているのですが、そこで出会う人に「佐野市出身です」とよく声をかけていただきます。皆さん嬉しそうにさのまるのことを「このキャラクター知ってる？」などと笑顔で話し、改めてさのまるは佐野市の誇りであると感じました。お子さんも「さのまるくんだ！」とよく声をかけてくれます。

さのまるを活用した事業PR

大澤さん 市の事業として行うのに、「さのまる」と付くと「佐野市が何か事業を実施している」と分かりやすいのかなと思います。また、市が実施す

る事業には「さのまる」が付くものが多いですよ。それだけさのまるが慕われていることが分かります。

橋本さん 事業のみならず商品でもさのまるを使ったものが多くありますよね。販売する際にパッケージにさのまるがいてとキャッチーで手に取ってもらいやすいですし、老若男女問わず人気があります。さのまるによる集客効果も感じています。

尾花さん 事業者の方は商品を多く手に取ってもらえ、商品が市外で売られ

ると市の認知度向上にもつながります。さのまるを介して事業者と市、お互いの目指すことが実現していますよね。

これからのさのまるへの期待

大澤さん ぜひまた海外にも行ってほしいです。

武島さん そうですね。インバウンドで集客効果も期待できると思います。

尾花さん 市内向けのPRも引き続き頑張っしてほしいですね。さのまるのお

かげで佐野市に愛着を持ってくださっている市民の方はたくさんいらっしゃると思いますし、お子さんにも非常に人気だと思うので、これからも変わらず愛される存在として活動を頑張っしてほしいです。

橋本さん 保育園や幼稚園など、子どもたちと身近に触れ合えるような出演をこれからも続けてほしいです。子どもたちが大人になったときに、さのまるの思い出を覚えていて、また佐野市に戻ってくるきっかけになるかなと思います。